

# NEW PRODUCTS

## Check & Report

### トランペット

ハンドメイド・ブランドのBSCから、多彩なシーンで使用できるニュー・モデルが登場

### Brass Sound Creation(ブラスサウンドクリエーション) TR-205S オールラウンド

ルクセンブルクに在住の日本人デザイナー、Tomomi Katoが主宰するトランペット・メーカー、ブラスサウンドクリエーション。プロ・ミュージシャンも多く愛用するこのメーカーは、伝統的なハンドメイド技法にこだわり、すべてのモデルに共通して正確な音程と吹きやすさを実現している。今回は同メーカーのラインナップの中でも、新たな位置づけとなるニュー・モデル「オールラウンド」を松島啓之が試奏した。

このメーカーのトランペットは初めて吹きましたが、とても良い楽器ですね。吹く前はもっと明るくて軽い音の印象でしたが、柔らかくて太い音がします。まさにトランペットらしい音です。部品も良いものを使っており、造りもしっかりしています。ヴァルヴのタッチも僕は好きです。ピッチもとても良いし、出しにくい音域などもない。とにかく「全音域でバランスが良い楽器」という印象

で、僕も使ってみたくなりました。

今回試奏した“オールラウンド”は、BSCの他の機種に比べて、吹奏時に若干の抵抗感があります。個人的にはバック、それもニューヨーク・バックに近い印象を受けました。ベルのシェイプが細くて先の方で開いているのが、BSCの他の機種とは違って、このシェイプが音色と吹奏感に影響しているようです。基本的にはラウンド&ファット

名前の通りオールラウンドに活躍してくれそうな1本

松島啓之

な音色ですが、吹き込めばバリッと鳴ります。ブリッとした太い音が欲しいときも、ハスキーな音色が欲しいときも、しっかり鳴ってくれて、とても表現力は広いように思います。

これ1本でビックバンドとコンボの両方OKですね。名前の通りオール・ラウンドに活躍してくれそうですが、プレイヤーの意図をそのまま表現できる力を持っているから、ある意味では個性が出しやすいとも言えるでしょう。

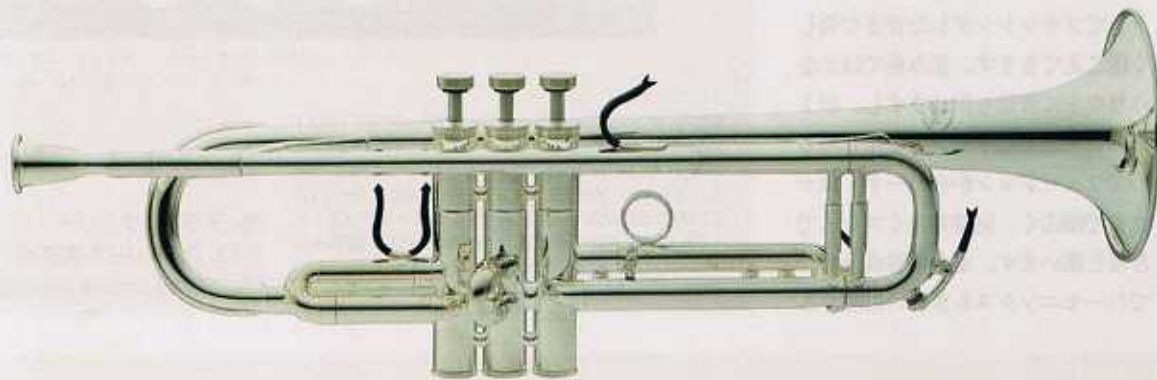
この楽器の特徴を一言で表現する



松島啓之

としたら、ニューヨーク・バック的なヴィンテージの魅力を持ちながら、ピッチやヴァルヴなどの不安がない楽器と言ったらいいかな？ ヴィンテージが欲しいけど、ピッチや機構的な部分が不安だから……と感じている方は、一度試してみるといいですよ。

- キー：B♭ ●ベル：イエロー・ブラス(特殊2枚取り) ●直径：4.803"(122mm)
  - ボア・サイズ：0.406"(11.70mm)
  - 仕上げ：銀メッキ ●ケース付属
- ※写真のマウスピースは付属していません



問：セレクト インターナショナル  
(TEL.047-374-0792)  
<http://www.select-inter.com/>